

「自己啓発を促す校内研修のあり方・すすめ方」試案

福島県教育センター学校経営部

1. 校内研修計画の段階から

① 個人のニーズを生かした研修課題の集約の仕方

課 題	改善の方向	改善の具体策	配 慮 事 項
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> <p>問題点 個人のニーズを生かして研修課題を集約する手続きが不十分である。</p> </div> <p>児童生徒や教師のニーズを生かした研修課題は、どのような手順で集約すればよいか。</p>	<p><input type="checkbox"/> 児童生徒一人ひとりの改善点を明確にする。</p> <p><input type="checkbox"/> 学年（学級）の研修課題を明確にする。</p> <p><input type="checkbox"/> 日常の教育実践の問題点を明確にする。</p> <p><input type="checkbox"/> 教師一人ひとりの研修課題を明確にする。</p> <p><input type="checkbox"/> 学校の研修課題を集約する。</p>	<p>① 児童生徒が、自分で改めたいことをカードに書く。</p> <p>② 児童生徒の書いたカードの内容を学年（学級）としてまとめる。</p> <p>③ 学習指導、生徒指導、学級経営等の問題点を整理する。</p> <p>④ 教育のあり方を深く考えて研修課題をつきつめる。</p> <p>⑤ 児童生徒や教師のニーズを生かして学校の研修課題を集約する。</p>	<p>○カードには、学校の教育目標（学年の目標学級のため）に照らして、児童生徒一人ひとりに自分の学校生活を見つめさせ、自分で改善したいこと、努力したいこと、伸長させたいこと等を具体的に書かせるようにする。</p> <p>○カードの形式は、集約の仕方や自己評価の方法等を考慮して、活用しやすいように工夫する。</p> <p>○カードの内容をもとにして、学級での改善点、努力点、一層伸長させたいこと等を集約し、学年（学級）としての研修課題をまとめる。</p> <p>○児童生徒のニーズが生かされ、簡明にまとめられるように、チェックリスト、座席表、KJ法等の手法を有効に用いるよう配慮する。</p> <p>○これまでの校内研修で残された課題を吟味し、学年（学級）としての研修課題と対比させて問題点を一層深くとらえるようにする。</p> <p>○日常の学習指導、生徒指導、学級経営等の問題点の所在を明確にして、学年（学級）としての研修課題とつぎ合わせ、問題点を明確にして整理をするようにする。</p> <p>○これからの教育のあり方を深く考え、教師個人としての研修課題を広く求めて、研修課題をつきつめるようにする。</p> <p>○研修課題の共通理解が十分図られるように、研修課題を集約する一つ一つの手順を、学校の実態に合わせて、効率的にふまえるようにする。</p> <p>○個人のニーズを生かして学校としての研修課題を集約するために、特に、児童生徒一人ひとりのニーズ、教師一人ひとりのニーズ、日常の教育実践の問題点、教師の考える教育のあり方、集約するそれぞれの手続き等を大切に</p>